

2024（令和6）年度 学校経営方針

伊賀市立西柘植小学校

1 校訓 至誠（規律 勤勉 親切 勇気）

2 教育目標方針

「生命と人権の尊重を基盤に、豊かでしなやかな心と身体を持ち、主体的に学習し、たくましく生きる子どもを育成する」

3 目指す子ども像

- （1）進んで学習し、深く考える子
- （2）自分を大切にし、友だちと助け合い、「思い」を伝える子
- （3）夢をもって、自ら学び続け、ねばり強く頑張る子

4 努力目標

- （1）「確かな学力」の向上を目指します。
 - ・子ども一人一人を理解し、個に応じた指導を行い「わかる授業」を展開します。
 - ・国語科を中心に、書くこと、話すこと、聞くこと、読むことが好きな子どもを育成します。
 - ・授業の中での話し合い活動、集会等での思いや考えの伝え合いを通して、コミュニケーション力の育成を図るとともに、仲間とともに学び合い高まる子どもを育成します。
 - ・基礎・基本の学力の定着を目指し、自ら学び考える子どもを育成します。
 - ・学んだ力を使って、自ら問題を解決しようとする自立した子どもの育成を目指します。
 - ・一人1台端末を有効活用した授業づくりをすすめます。
- （2）「人権」を大切にする教育を目指します。
 - ・子ども一人一人の人格を尊重し、思いやりの心を育みます。
 - ・体験活動・読書活動を大切に、人や物との関わりを通して、人間としての生き方を学ばせるとともに、豊かな感性を育みます。
 - ・部落差別をはじめ、あらゆる差別を許さない子どもを育成します。
 - ・ありのままの自分をみつめ、自己肯定感を育み、自他を尊重する子どもの育成を目指します。
 - ・福祉教育（手話言語等）に取り組み、他者を理解し、共生する力を育てます。
- （3）「キャリア教育」の視点で教育活動を行い、目標や将来の夢や希望を持ち、未来を切り拓く子どもの育成を目指します。
 - ・気持ちのよいあいさつ・返事をはじめ、基本的な生活習慣の確立に取り組みます。
 - ・「キャリアパスポート」等を用いて、子どもと対話的に関わり、一人ひとりのキャリア形成に努めます。
 - ・家族の仕事の聞き取りや地元企業との連携を通して、労働や職業に対する興味・関心、社会の形成に参画する意欲を高めます。
- （4）「開かれた学校」づくりに努め、保護者・地域とともに子どもを育てる教育を目指します。
 - ・学校だより・学年だより、ホームページを通して、学校の教育方針や子どもたちの様子を知らせます。
 - ・地域素材の教材化、地域人材の有効活用に積極的に取り組みます。
 - ・学校行事、PTA活動等への参加率アップにつとめます。
 - ・保護者や地域の人たちと子どもたちとの活動機会を大切に、学校理解や連携を図ります。

(5) 「安心・安全の学校」づくりにつとめます。

- ・地域の協力を得ながら、交通事故防止・不審者被害防止のための登下校指導を実施します。
- ・健康・安全および食生活について考え、自分の健康管理ができる力を育むとともに、命と健康の尊さと成長の喜びを感じる教育を行います。
- ・常に子どもの言動に気を配り、子どものよさや、気に掛かったことを出し合い、次の指導に生かせる情報の交換に努めます。
- ・避難訓練等を定期的実施し、自分の命を守るスキルを身につけられるよう取り組みます。

5 目指す教師像

「専門職としての自覚を持って、自ら研修に励み、子どもとともに歩む教師」

- (1) 学ぶ楽しさを味わわせ、子どもが主体的に追求する学習活動を創造する教師
- (2) 愛情深く子どもを見守る教師
- (3) 差別をなくしていく感性と実践力を持つ、人間性豊かな教師
- (4) 職員、家庭、地域との連携に努め、優しさと厳しさを兼ね備えた信頼される教師
- (5) 危機管理意識を持ち、状況に応じ、実効性のある対応ができる教師
- (6) 職務内容の精選と過重労働削減に努め、心身ともにゆとりをもって教育活動に邁進する教師
 - ☆職員会議・研修では、連絡確認は打ち合わせにし、1時間以内の終了をめざします。
 - ☆毎週水曜日を定時退校日と定め、全職員が18時までには退校するようにします。また、金曜日にも定時退校日に準ずる日として、18時退校をめざします。
 - ☆「帰れる日には早く帰る」意識を高め、月平均30時間を超える時間外労働が一人もないようにします。
 - ☆年休取得計画にしたがって、順に休めるよう職場全体でカバーします。一人当たりの年休取得日数「15日以上」となるようにはたらきかけます。
 - ☆「働きやすい環境づくり」の実現を目指し、職務内容の精選と過重労働削減の取り組みの進捗状況を労働安全委員会にて確認し、次への取り組みにつなげます。また、教職員間のコミュニケーションを活発に行います。
- (7) 服務規律を遵守し、信頼される教師
 - ☆コンプライアンス研修を通じて、教職員の意識向上をはかります。

6 重点事項

- (1) 学力 「基礎学力の定着」と「コミュニケーション力の育成」
 - ・達成感、満足感を味わえるわかる授業づくり
 - ・スキル学習を盛り込んだ復習に重点を置いた基礎学習（学力検査の「国語」「算数」の全国平均以上）
 - ・静かに聞く、ていねいに話すことを大切にされた落ち着いた学習環境づくり
 - ・学び合い、深め合う中でつながる喜びを感じ、次への意欲が持てる学習内容
 - ・読書活動の充実、意欲的に取り組む家庭学習、楽しい外国語活動・英語の授業
- (2) 人権 「学校全体の仲間づくり・学級集団づくり」
 - ・児童会活動や運動会などで、低学年や全体のことを考えられる高学年の指導力育成
 - ・困っていることを教師や友だちに相談できる人間関係づくり
 - ・まちがったこと、おかしいと思うことに気づき、解決しようとする実践力
 - ・日々互いに「ありがとう」と言い合える児童の関係づくり
 - ・一人一人の違いを認め合う人間関係づくり
 - ・人権課題に応じた身近な学習題材の創造
- (3) キャリア 「当たり前前ことを継続する意欲と態度の育成」
 - ・元気ではつらつとした挨拶や返事 整理整頓
 - ・清掃活動の充実・・・勤労や奉仕、誠実な態度を育てる
 - ・家族の一員として・・・家庭での仕事を継続して実施
 - ・キャリア教育の充実・・・生き方をみつめる出会い学習や体験学習
 - ・夢や志を持ち、その実現に向けた主体的な活動の場づくり